

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和8年3月1日 13時30分～16時)

注意事項

- 1. 試験問題の数は122問で解答時間は正味2時間30分です。
- 2. 解答方法は次のとおりです。
 - (1) 各問題には1から4までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 問題 100 県庁所在地は (例2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

- 1. 栃木市
- 2. 川崎市
- 3. 神戸市
- 4. 倉敷市

2つ選べ。

- 1. 宇都宮市
- 2. 川崎市
- 3. 神戸市
- 4. 倉敷市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

100	①	②	③	④
100	①	②	●	④

答案用紙②の場合

100	100
①	①
②	②
③	●
④	④

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

101	①	②	③	④
101	●	②	●	④

答案用紙②の場合

101	101
①	●
②	②
③	●
④	④

記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。
良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)
悪い解答の例…… ⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことにならない。)
- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- ③ (例 1) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。
(例 2) の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。
- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 ブレスローらの7つの健康習慣で正しいのはどれか。

1. 間食を毎日する。
2. 1日の塩分摂取量を6g未満にする。
3. 定期的にかなり激しい運動をする。
4. 1日の野菜摂取量を350g以上にする。

問題 2 医療計画の記載事項はどれか。

1. 基準病床数の算定
2. 受動喫煙防止対策の推進
3. 後期高齢者医療制度の実施
4. 市区町村保健センターの設置

問題 3 基準人口を人口モデルとして算出される人口統計指標はどれか。

1. 平均寿命
2. 有訴者率
3. 総再生産率
4. 年齢調整死亡率

問題 4 児童虐待を疑ったときの通告先はどれか。

1. 教育委員会
2. 児童相談所
3. 地域包括支援センター
4. 女性相談支援センター

問題 5 産業保健で正しいのはどれか。

1. 産業保健行政の第一線機関は保健所である。
2. 産業保健の3管理のひとつに作業環境管理がある。
3. 産業医は事業場における特殊健康診断を実施する義務がある。
4. 労働者の安全と健康の確保は労働基準法に規定されている。

問題 6 肥満によって発がんリスクが上がるのはどれか。

1. 肺がん
2. 胃がん
3. 大腸がん
4. 食道がん

問題 7 介護保険法の第一号被保険者となるのはどれか。

1. 70歳以上
2. 65歳以上
3. 60歳以上
4. 40歳以上

問題 8 感染症対策を担う国際機関はどれか。

1. ILO
2. UNHCR
3. WHO
4. WWF

問題 9 原虫はどれか。

1. マラリア
2. カンジダ
3. リケッチア
4. クラミジア

問題 10 芽胞を有する細菌に効果のある消毒薬はどれか。

1. 過酢酸
2. 消毒用エタノール
3. ポビドンヨード
4. クロルヘキシジン

問題 11 季節病でないのはどれか。

1. 肺結核
2. 気管支炎
3. 細菌性食中毒
4. 脳血管疾患

問題 12 廃棄物処理の3Rに含まれないのはどれか。

1. 減量(Reduce)
2. 再販売(Resale)
3. 再利用(Reuse)
4. リサイクル(Recycle)

問題 13 自立生活運動(IL 運動)はどれか。

1. 職業訓練を通じて障害者に社会復帰を促す。
2. 障害者の日常生活を健常者の規範にできるだけ近づけ、社会生活を共に送る。
3. 障害者が自ら意思決定をする主体的な生活を送り、他者からの干渉を排除する。
4. 医学的、職業的、教育的、社会的の4つの側面全てを含んだリハビリテーションを行う。

問題 14 ウェクスラー成人知能検査第4版(WAIS-IV)の指標に含まれないのはどれか。

1. 言語理解
2. 知覚推理
3. 流動性推理
4. ワーキングメモリー

問題 15 頭部画像(別冊 No. 1)を別に示す。

考えられる診断はどれか。

1. 脳梗塞
2. 脳出血
3. 外傷性脳損傷
4. くも膜下出血

別冊 No. 1
写真

問題 16 心理的防衛機制で否認はどれか。

1. 衝動や葛藤を無意識的に押さえ込む。
2. 現実的状况を無意識的に認めまいとする。
3. ある対象に向けられた感情とは正反対の感情や振舞いを無意識に行う。
4. ストレスに遭遇したりその狀況が長く続くと、それ以前の発達段階に戻って自我を守る。

問題 17 下位運動ニューロン障害の特徴はどれか。

1. 筋萎縮は軽微である。
2. 腱反射は亢進する。
3. 筋トーンは増強する。
4. 病的反射は出現しない。

問題 18 介護支援専門員の役割はどれか。

1. 家事援助
2. 経済的問題の解決
3. 訪問入浴サービス
4. 介護サービス計画の作成

問題 19 創傷治癒促進を目的とした治療的電気刺激はどれか。

1. 干渉波電流
2. 微弱電流刺激
3. ロシアンカレント
4. 高電圧パルス電流

問題 20 杖の長さの調節で正しいのはどれか。

1. 肘関節は 75 度程度の屈曲位
2. グリップは大腿骨大転子の高さ
3. 杖先は足尖部から 15 cm 後方に位置
4. 杖先は足尖部から 50 cm 外側に位置

問題 21 パーキンソン(Parkinson)病の症状でないのはどれか。

1. 寡動
2. 筋固縮
3. 酩酊歩行
4. 姿勢反射障害

問題 22 介護保険において要介護の原因で最も多いのはどれか。

1. 認知症
2. 関節疾患
3. 骨折・転倒
4. 高齢による衰弱

問題 23 77歳の女性。家族と同居している。老化に伴い歩行速度が0.9 m/秒と低下しており、障害高齢者の日常生活自立度はA-1である。握力は左右とも15 kg、BMIは16.5であり、最近、食事中にむせるようになった。

適切な支援策はどれか。

1. 経管栄養を導入する。
2. 散歩などの外出を促す。
3. 屋内の移動に車椅子を使用する。
4. ハローワークに登録し職探しをする。

問題 24 急性の意識障害患者にまず行うのはどれか。

1. 触診
2. 打診
3. 腱反射
4. 生命徴候観察

問題 25 重症うっ血性心不全でみられる姿勢はどれか。

1. 起坐位
2. 仰臥位
3. エビ姿勢
4. 後弓反張

問題 26 ジャパン・コーマ・スケール(JCS)で100に相当するのはどれか。

1. だいたい意識清明だが、もうひとつはっきりしない。
2. 普通の呼びかけで容易に開眼する。
3. 痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする。
4. 痛み刺激に全く反応しない。

問題 27 進行性筋ジストロフィーでみられるのはどれか。

1. 突進歩行
2. アヒル歩行
3. 間欠性跛行
4. 失調性歩行

問題 28 脛骨神経麻痺でみられる変形はどれか。

1. 踵 足
2. 尖 足
3. 外反足
4. 内反足

問題 29 肺胞呼吸音が生ずる部位はどれか。

1. 声 帯
2. 気 管
3. 気管支
4. 細気管支

問題 30 皮膚や皮下の腫瘤の触診で悪性を疑う所見はどれか。

1. 柔らかい。
2. 圧痛がある。
3. 可動性がある。
4. 表面が不整である。

問題 31 糖尿病性ケトアシドーシスによる昏睡でみられるのはどれか。

1. チェーン・ストークス呼吸
2. クスマウル呼吸
3. ビオー呼吸
4. 奇異呼吸

問題 32 深部感覚はどれか。

1. 触覚
2. 温度覚
3. 振動覚
4. 2点識別覚

問題 33 食道静脈瘤をきたすのはどれか。

1. 肝硬変
2. 食道炎
3. 食道癌
4. 胃・十二指腸潰瘍

問題 34 急性膵炎の原因とならないのはどれか。

1. 自己免疫
2. 胆嚢ポリープ
3. アルコール多飲
4. 胆石・総胆管結石

問題 35 慢性閉塞性肺疾患(COPD)で正しいのはどれか。

1. 喫煙が原因となる。
2. 漏斗胸を呈する。
3. 吸気が延長する。
4. 聴診で呼吸音が増強する。

問題 36 自然気胸で正しいのはどれか。

1. 突然の胸痛で発症する。
2. 喘鳴を伴う。
3. 呼吸音が増強する。
4. 胸水が貯留する。

問題 37 閉塞性動脈硬化症で誤っているのはどれか。

1. 下肢の動脈に狭窄を生じる。
2. 下肢の血圧が上昇する。
3. 歩行時に下肢痛が生じる。
4. フォンテイン分類を用いる。

問題 38 鉄欠乏性貧血に特徴的なのはどれか。

1. 異食症
2. 振動覚異常
3. 舌乳頭萎縮
4. 皮下・粘膜出血

問題 39 慢性骨髄性白血病の原因はどれか。

1. 代謝異常
2. 免疫異常
3. 遺伝子異常
4. ウイルス感染

問題 40 痛風発作の好発部位はどれか。

1. 足関節
2. 膝関節
3. 第1中手指節関節
4. 第1中足趾節関節

問題 41 疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. ベーチェット(Behçet)病 ————— 筋 痛
2. 関節リウマチ ————— 外陰部潰瘍
3. 多発性筋炎 ————— 皮膚硬化
4. 強皮症 ————— 嚥下障害

問題 42 尿路結石で最も多いのはどれか。

1. アンモニウム結石
2. カルシウム結石
3. シスチン結石
4. 尿酸結石

問題 43 パーキンソン(Parkinson)病に特徴的なのはどれか。

1. 安静時振戦
2. 姿勢時振戦
3. 睡眠時振戦
4. 動作時振戦

問題 44 40歳の女性。頸椎捻挫の施術中に前頸部の腫れに気が付いた。本人から話を聞いたところ、半年ほど前から仕事をする気力がなくなり、3か月ほど前から皮膚の乾燥と便秘が続いており、寒がりになっているとのことであった。脈拍は46/分・整。下腿前面に指圧痕の残らない浮腫がみられる。

考えられるのはどれか。

1. うつ病
2. 心不全
3. 橋本病
4. バセドウ(Basedow)病

問題 45 28歳の女性。3か月前から夕方になると脛が重く、開けづらく感じた。1か月前から疲れると物が二重に見えるようになった。硬いものを噛んでいると顎が疲れて動かなくなるので、休みながら食事をしている。

この患者でみられるのはどれか。

1. 振戦
2. 反復運動での症状の増悪
3. ロンベルグ徴候
4. バビンスキー反射

問題 46 機械的損傷はどれか。

1. 低温による凍傷
2. 気圧による減圧症
3. 紫外線による熱傷
4. 電気による電撃傷

問題 47 院内感染で正しいのはどれか。

1. 術後呼吸器感染の原因菌は大腸菌が多い。
2. 手術中の感染は含まない。
3. 患者の皮膚に常在する菌による感染は外因性感染と呼ぶ。
4. 医療従事者が感染した場合も含まれる。

問題 48 腫瘍の組合せで誤っているのはどれか。

1. 扁平上皮癌 ———— 皮膚癌
2. 未分化癌 ———— 悪性度が高い
3. 卵巣転移 ———— シュニッツラー(Schnitzler)転移
4. 機能性腫瘍 ———— 褐色細胞腫

問題 49 輸血の副作用と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 空気塞栓 ———— 乏尿
2. 不適合輸血 ———— 血圧低下
3. クエン酸中毒 ———— 発熱
4. ウイルス感染 ———— けいれん

問題 50 手術で正しいのはどれか。

1. 皮膚切開はランゲル皮膚割線と平行して行う。
2. 開腹手術は日帰りで行う。
3. 姑息的手術は完全治癒を目指す手術である。
4. 感染創には一次縫合を行う。

問題 51 麻酔で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 腰椎穿刺後の頭痛は体動で増悪する。
2. 悪性高熱症ではアルカローシスを起こす。
3. 胃液の誤嚥による肺炎をメンデルソン(Mendelson)症候群という。
4. 誤嚥性肺炎はラリンジアルマスクで予防できる。

問題 52 2010年に施行された改正臓器移植法で誤っているのはどれか。

1. 本人の意思がなければ、家族の同意があっても臓器提供は不可となった。
2. 15歳未満での法的脳死判定が可能となった。
3. 虐待から脳死にいたった小児からの移植は禁止された。
4. 親族への優先提供が容認された。

問題 53 胸骨圧迫心臓マッサージで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肘はまっすぐに伸ばして圧迫する。
2. 気道確保の後に開始する。
3. 胸骨圧迫部位は左右の乳頭を結ぶ線の真ん中である。
4. 80回/分のテンポで圧迫する。

問題 54 アルコール多飲者に多い頭蓋内出血はどれか。

1. 急性硬膜下血腫
2. 急性硬膜外血腫
3. 慢性硬膜下血腫
4. 外傷性脳内出血

問題 55 脳梗塞で正しいのはどれか。

1. 20～30%で一過性脳虚血が先行する。
2. アテローム血栓性脳梗塞は心房細動を合併する。
3. 心原性脳梗塞は階段状に進行する。
4. ラクナ梗塞は意識障害を伴う。

問題 56 18歳の男子。バイクで転倒し左側胸部を強打した。意識は清明。左側胸部に著明な疼痛があり、呼吸困難を訴えている。胸部単純エックス線検査で左第4・5肋骨骨折と左肺完全虚脱がみられた。

まず行うべき治療はどれか。

1. 外固定
2. 開胸手術
3. 気管内挿管
4. 胸腔ドレナージ

問題 57 人工関節形成術で正しいのはどれか。

1. 人工材料にセラミックは使用しない。
2. 急性期の感染性関節疾患には行わない。
3. 手指関節は適応でない。
4. 高齢者では行わない。

問題 58 慢性骨髄炎で正しいのはどれか。

1. 骨打ち抜き像がみられる。
2. MRIで炎症の広がりが見られる。
3. 瘻孔がある場合、血液検査で炎症反応が高値を示す。
4. 抗菌薬投与で速やかに治癒する。

問題 59 転移性骨腫瘍で正しいのはどれか。

1. 原発巣の症状が先行する。
2. 疼痛の寛解・増悪を繰り返す。
3. 長管骨の骨幹端部に好発する。
4. 溶骨性病変が多い。

問題 60 骨粗鬆症で誤っているのはどれか。

1. 橈骨骨幹部骨折は骨脆弱性骨折である。
2. 治療薬としてビタミンKがある。
3. 骨萎縮度は腰椎エックス線側面像で判定する。
4. 治療上重要なのは生活指導である。

問題 61 くる病の症状はどれか。

1. 青色強膜
2. 高身長
3. O脚変形
4. 皮膚の色素斑

問題 62 障害と神経の組合せで誤っているのはどれか。

1. 手根管症候群 ————— 正中神経
2. 肘部管症候群 ————— 尺骨神経
3. 足根管症候群 ————— 脛骨神経
4. ギヨン(Guyon)管症候群 ———— 橈骨神経

問題 63 投球障害で正しいのはどれか。

1. 大学生では離断性骨軟骨炎が多い。
2. 手術的治療を選択することが多い。
3. リトルリーグエルボーは上腕骨外顆裂離骨折である。
4. 関節ねずみはロッキングを起こす。

問題 64 デュピュイトラン(Dupuytren)拘縮で正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 手掌に発生する。
3. 夜間痛がみられる。
4. ステロイドの局所注射が著効する。

問題 65 鵞足炎に関与するのはどれか。

1. 半膜様筋
2. 大腿直筋
3. 縫工筋
4. 大内転筋

問題 66 扁平足で正しいのはどれか。

1. 外反母趾を合併しやすい。
2. 踵骨は内反する。
3. 前脛骨筋の機能不全がある。
4. 治療用矯正靴を用いる。

問題 67 20歳の男性。サッカーで後方に左手を突いて転倒し受傷した。病院にて骨折と診断された。受傷時の単純エックス線写真(別冊 No. 2)を別に示す。ギプスによる保存的治療を8週間行ったが、半年の時点でも疼痛は残存している。

正しいのはどれか。

1. 徒手整復を行う。
2. snuff box に圧痛がある。
3. 再度ギプス固定を行う。
4. この骨の血流は近位から入る。

別 冊 No. 2 写 真

問題 68 施術録記載の SOAP で O はどれか。

1. 評 価
2. 施術計画
3. 主観的情報
4. 客観的情報

問題 69 柔道整復師が行うインフォームド・コンセントで正しいのはどれか。

1. 患者の自主選択権を尊重する。
2. 患者の同意後の変更は認めない。
3. 認知症高齢者には説明は不要である。
4. 観血療法の説明は不要である。

問題 70 骨粗鬆症患者の運動指導で適切でないのはどれか。

1. 立ち上がり動作
2. ウォーキング
3. 体幹前屈運動
4. 坐位で下肢筋のストレッチ

問題 71 全身関節弛緩性テストで陽性所見はどれか。

1. 膝を伸ばして身体を前屈して指先が床に届く。
2. 踵をつけてつま先が120度以上開く。
3. 足関節が20度以上背屈する。
4. 背臥位で膝が10度以上反張する。

問題 72 頭蓋底骨折と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 前頭蓋底骨折 —— ブラックアイ
2. 後頭蓋底骨折 —— バトル徴候
3. 中頭蓋底骨折 —— カーテン徴候
4. 前頭蓋底骨折 —— 口蓋垂の健側偏位

問題 73 眼窩底破裂骨折の合併症で誤っているのはどれか。

1. 顎関節脱臼
2. 視神経障害
3. 視束管骨折
4. 脳しんとう

問題 74 頸椎骨折の組合せで正しいのはどれか。

1. 環椎破裂骨折 ————— ジェファーソン(Jefferson)骨折
2. 軸椎椎体骨折 ————— ハングマン骨折
3. 椎体破裂骨折 ————— ティアドロップ骨折
4. 椎体前辺縁部骨折 ————— チャンス(Chance)骨折

問題 75 胸骨骨折で誤っているのはどれか。

1. ハンドル損傷で発生する。
2. 胸骨剣結合部骨折では剣状突起は胸骨体の前方に転位する。
3. 胸壁動揺があれば重篤である。
4. 心臓しんとうの合併は予後不良である。

問題 76 腰椎の横突起骨折の検査はどれか。

1. パトリックテスト
2. ルドロフ徴候
3. ヒップテスト
4. パイル徴候

問題 77 肩甲骨骨折で肩関節前方脱臼と外観が類似するのはどれか。

1. 骨体部骨折
2. 上角骨折
3. 頸部骨折
4. 肩峰骨折

問題 78 上腕骨骨幹部骨折で神経損傷が合併した場合に障害されないのはどれか。

1. 長母指外転筋
2. 短母指外転筋
3. 橈側手根伸筋
4. 尺側手根伸筋

問題 79 円回内筋付着部より近位の前腕骨骨幹部骨折で遠位骨片に作用するのはどれか。

1. 回外筋
2. 上腕筋
3. 上腕二頭筋
4. 方形回内筋

問題 80 野球バットのグリップエンドに手掌部が衝突することで生じるのはどれか。

1. 三角骨骨折
2. 有鉤骨骨折
3. 月状骨骨折
4. 大菱形骨骨折

問題 81 大腿骨の骨折で誤っているのはどれか。

1. 大腿骨顆上屈曲型骨折の骨折線は前上方から後下方に走行する。
2. 大腿骨遠位骨端線離開伸展型では遠位骨片は前上方に転位する。
3. 大腿骨外顆骨折の骨折線は顆間窩から外側上顆近位部に走行する。
4. 大腿骨内顆骨折では骨片は内上方に転位する。

問題 82 膝蓋骨骨折で正しいのはどれか。

1. 固定範囲は大腿遠位部から下腿近位部である。
2. 転位が軽度なら固定期間は2週である。
3. 介達外力で縦骨折が生じる。
4. 線維性癒合になりやすい。

問題 83 骨折と症状の組合せで誤っているのはどれか。

1. 脛骨顆間隆起骨折 ————— 関節血症
2. 腓骨頭単独骨折 ————— 外反動揺性
3. 脛骨粗面骨折 ————— 伸展力低下
4. 脛骨外顆骨折 ————— 外反変形

問題 84 下腿骨骨幹部骨折に伴う尖足位拘縮の原因で誤っているのはどれか。

1. 腓腹筋損傷
2. 総腓骨神経麻痺
3. 膝関節屈曲位固定
4. 足関節底屈位固定

問題 85 趾骨骨折で正しいのはどれか。

1. 介達外力による発生が多い。
2. 近位骨片が背側へ転位する。
3. 足底側凸変形が残存すると歩行障害が生じる。
4. 第2趾に多い。

問題 86 肩関節前方脱臼後の筋力増強運動で適切でないのはどれか。

1. 屈曲
2. 水平伸展
3. 内転
4. 内旋

問題 87 肘関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 青壮年に多い。
3. 直達外力による発生が多い。
4. 反復性となりやすい。

問題 88 月状骨の脱臼で正しいのはどれか。

1. 月状骨脱臼では橈骨と月状骨の位置関係は正常である。
2. 月状骨周囲脱臼は手関節に屈曲力が作用して発生する。
3. 月状骨脱臼の整復は前腕を回内させてから開始する。
4. 月状骨脱臼と月状骨周囲脱臼の固定肢位は同じである。

問題 89 第1中手指節関節脱臼で誤っているのはどれか。

1. 背側脱臼が多い。
2. 水平脱臼は観血療法が必要である。
3. 母指過伸展で受傷する。
4. 側副靭帯の完全断裂が多い。

問題 90 指節間関節の脱臼で正しいのはどれか。

1. PIP 掌側脱臼ではスワンネック変形が遅れて出現する。
2. PIP 背側脱臼は PIP 関節が過屈曲して生じる。
3. DIP 掌側脱臼はボタン穴変形を呈する。
4. DIP 背側脱臼は DIP 関節が過伸展して生じる。

問題 91 股関節屈曲 80 度、軽度外転・外旋位でのダッシュボード損傷で生じにくいのはどれか。

1. 股関節単独脱臼
2. 大腿骨頸部骨折
3. 大腿骨頭骨折
4. 関節窩後縁の骨折

問題 92 膝蓋骨外側脱臼の要因で正しいのはどれか。

1. 内反膝
2. Q 角の減少
3. 外側広筋の萎縮
4. 大腿骨頸部過度前捻

問題 93 顎関節症で靭帯損傷が主となるのはどれか。

1. I 型
2. II 型
3. III 型
4. IV 型

問題 94 仙腸関節に由来する腰殿部痛の判定に用いるのはどれか。

1. スパーリングテスト
2. ラセーグ徴候
3. ニュートンテスト
4. トレンデレンブルグ徴候

問題 95 ベネット(Bennett)損傷で誤っているのはどれか。

1. 投球動作のフォロースルー期に脱力感が強くなる。
2. 肩関節関節窩上方の骨棘形成によって発症する。
3. 肩関節外転外旋強制で疼痛を訴える。
4. 肩関節内旋可動域が減少する。

問題 96 上腕骨内側上顆炎に関与するのはどれか。

1. 上腕二頭筋
2. 長母指伸筋
3. 尺側手根屈筋
4. 回外筋

問題 97 後骨間神経障害で正しいのはどれか。

1. 肘内側部に疼痛が生じる。
2. 円回内筋での絞扼によって生じる。
3. 前腕の過度な回外動作によって生じる。
4. 下垂手が生じる。

問題 98 手の障害と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 三角線維軟骨複合体損傷 ————— 橈屈で疼痛誘発
2. ド・ケルバン(de Quervain)病 ————— 第2区画の腫脹
3. 手根管症候群 ————— ファーレンテスト陽性
4. マーデルング(Madelung)変形 ————— 手関節掌屈制限

問題 99 鼠径部痛症候群で正しいのはどれか。

1. 初期から日常生活に支障がある。
2. 大腿筋膜張筋に疼痛を訴える。
3. 鼠径ヘルニアとの鑑別を要する。
4. 観血療法が第一選択である。

問題 100 病名と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 鷺足炎 ————— 膝窩部
2. ランナー膝 ————— ガーディ結節部
3. ジャンパー膝 ————— 膝蓋骨内側縁部
4. 有痛性分裂膝蓋骨 ————— 膝蓋骨外上方部

問題 101 衝突性外骨腫で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 水泳の選手に多い。
2. 脛骨と腓骨の衝突で起こる。
3. 足関節に不安定性がみられる。
4. 足関節前面に腫脹がみられる。

問題 102 障害と好発の組合せで正しいのはどれか。

1. 強剛母趾 ————— 20～30歳
2. セーバー(Sever)病 ————— 女子
3. 有痛性外脛骨 ————— 10～15歳
4. 第2ケーラー(Köhler)病 ————— 男子

問題 103 72歳の男性。震災後の避難所で車内生活をしている。外傷歴はないが、昨日から下肢の痛みと腫れを訴えている。家族に聴取したところ、「今朝は顔色も悪く、胸に痛みがあるようだ」という。男性に声をかけたところ肩で息をし始め、頻脈と意識がもうろうとなった。

考えられるのはどれか。

1. 脂肪塞栓症候群
2. クラッシュ症候群
3. エコノミークラス症候群
4. 下腿コンパートメント症候群

問題 104 23歳の男性。スケートボードの練習中、右手で体重を支持するような動作をすると、手関節の尺側部に痛みを自覚したため来所した。半年前に右橈骨遠位端を骨折し、医科にて保存療法を受け、若干の背屈転位が残存するも治癒との診断を1か月前に受けた既往がある。握力の低下はなく、手部の筋萎縮や自発性感覚異常もみられない。

考えられるのはどれか。

1. 三角線維軟骨複合体損傷
2. 橈骨神経障害
3. 反射性交感神経性ジストロフィー
4. 月状骨軟化症

問題 105 17歳の男子。体操競技の練習中に右膝から着地し受傷した。直後から歩行が困難となり車いすで来所した。右膝関節部の腫脹、疼痛は著明で、膝の前面に陥凹を触知する。

考えられるのはどれか。

1. 膝蓋骨外側脱臼
2. 膝蓋骨骨折
3. 脛骨顆間隆起骨折
4. 脛骨粗面骨折

問題 106 50歳の男性。スキーで転倒し、右下肢を負傷したため来所した。背臥位で寝かせたところ、膝蓋骨は正面を向いているが、足部は外旋している。

考えられるのはどれか。

1. 大腿骨骨幹部骨折
2. 脛骨骨幹部骨折
3. 脛・腓両骨骨幹部骨折
4. 腓骨骨幹部骨折

問題 107 14歳の女子。バレーボール部。1週間前からジャンプの着地の際に右下腿に痛みを自覚し来所した。右下腿前部中央に限局した腫脹と圧痛がみられる。整形外科を紹介し、単純エックス線検査を行ったが明瞭な陽性所見はなかった。

考えられるのはどれか。

1. ハンター(Hunter)管症候群
2. 脛骨疲労骨折
3. オスグッド・シュラッター(Osgood-Schlatter)病
4. コンパートメント症候群

問題 108 40歳の女性。初発の両側性顎関節前方脱臼で来所した。整復を行ったが、下顎の片側偏位が残存した。整復前と比較し疼痛は減少し会話が可能となり、口の開閉もわずかに可能となった。

考えられるのはどれか。

1. 片側顎関節円板前方転位の残存
2. 顔面神経麻痺の合併
3. 整復時下顎頭の骨折
4. 顎関節内障の続発

問題 109 4歳の男児。買い物中、母親に手を引っ張られた際に受傷した。肘を動かすと肘の外側に疼痛が生じ、痛みが改善しないため来所した。前腕は回内位、肘関節は軽度屈曲位にある。

正しいのはどれか。

1. 局所に腫脹が生じる。
2. 腕橈関節の亜脱臼である。
3. 肘関節は前腕回内位で固定する。
4. 再発が多い。

問題 110 20歳の女性。立ち上がろうとした際に右足を外側に滑らせ、右膝に痛みを自覚したため来所した。関節腫脹が著明で、膝蓋骨内縁に圧痛がみられる。引き出し徴候および側方動揺性テストは陰性で、全身性弛緩テストは7点中4点である。

考えられるのはどれか。

1. 膝蓋骨脱臼
2. 前十字靭帯損傷
3. 内側半月板損傷
4. 内側側副靭帯損傷

問題 111 24歳の男性。ランニング中に右前足部が溝に挟まって転倒して来所した。足部に激痛を訴えており、前足部は軽度外転位を呈している。足内側縁には内側楔状骨が触知され、足外側縁は第5中足骨底部が突出している。

考えられるのはどれか。

1. リスフラン関節外側脱臼
2. ショパール関節外側脱臼
3. リスフラン関節内側脱臼
4. ショパール関節内側脱臼

問題 112 30歳の男性。野球の素振りですら胸に痛みを自覚したため来所した。痛みは体幹の側屈や回旋で再現され、深呼吸や咳で増悪する。視診で明らかな腫脹はない。圧痛は右側胸部の第7・8肋間に限局する。

考えられるのはどれか。

1. 広背筋損傷
2. 肋間筋損傷
3. 肋骨骨折
4. 腰椎横突起骨折

問題 113 20歳の男性。2週前から右肩部後面の痛みと脱力感を自覚し、症状が軽快しないため来所した。棘下筋は萎縮し外旋筋力が低下しているが、棘上筋の筋力は保たれている。写真(別冊 No. 3)の★印で示した部分にしこりを触知する。

考えられるのはどれか。

1. 肩甲上神経絞扼障害
2. 腱板断裂
3. SLAP 損傷
4. ベネット(Bennett)損傷

別 冊 No. 3

写 真

問題 114 54歳の男性。右前腕掌側近位に疼痛を自覚していたが、母指と示指が曲がりにくくなったとの主訴で来所した。母指と示指でマルを作る動作を指示したところ、きれいなマルを作ることができない。

考えられないのはどれか。

1. 母指球筋の萎縮
2. 方形回内筋の麻痺
3. 示指末節部の感覚異常
4. 背側骨間筋の萎縮

問題 115 32歳の男性。工場で作業中に機械に左示指を挟まれて受傷した。救急車で医療機関に搬送され、正中索の部分損傷と診断された。手術療法を勧められたが、どうしても手術はしたくないとのことで保存療法を選択された。

PIP関節の固定肢位はどれか。

1. 深屈曲位
2. 60度屈曲位
3. 30度屈曲位
4. 伸展位

問題 116 18歳の男子。ハンドボールの試合中、大腿前面に激しい痛みを自覚した。大腿前面に限局性の腫脹と圧痛、皮下出血がみられる。歩行時に痛みを訴え、膝関節の自動屈曲が困難である。

損傷の可能性が高いのはどれか。

1. 大腿直筋
2. 中間広筋
3. 外側広筋
4. 内側広筋

問題 117 20歳の男性。ラグビーの試合中、右膝外側からタックルを受けた。直後から右膝内側に強い痛みがあり、プレーを続行できなかった。来所時に撮影した膝内側の長軸超音波画像(別冊 No. 4)を別に示す。

画像所見で見られるのはどれか。

1. 骨皮質の不整像
2. 内側側副靭帯の肥厚
3. 関節内遊離体
4. 半月板の石灰化

別 冊 No. 4
写 真

問題 118 16歳の男子。6歳からサッカーをしている。1か月前から右膝外側の疼痛を自覚するようになった。しばらく様子を見ていたが、症状が継続するため来所した。膝関節の腫れはみられない。

考えられないのはどれか。

1. 鷲足炎
2. ランナー膝
3. 円板状半月
4. 滑膜ヒダ障害

問題 119 40歳の男性。バドミントンでジャンプして着地した際、右下腿部に棒で殴られたような衝撃を感じプレー続行不能となった。術者が左手で下腿部を把持した状態の写真(別冊 No. 5)を別に示す。

初期の固定肢位で正しいのはどれか。

1. 膝関節伸展位・足関節背屈位
2. 膝関節伸展位・足関節底屈位
3. 膝関節軽度屈曲位・足関節背屈位
4. 膝関節軽度屈曲位・足関節底屈位

別 冊 No. 5 写 真

問題 120 25歳の男性。サッカーの練習中、ダッシュした際に左下腿内側に「プチッ」という音とともに強い痛みを自覚したため直ちに来所した。患部に腫脹と圧痛がみられ、疼痛のためつま先立ちが不能である。

来所時の対応で正しいのはどれか。

1. 温熱モードの超音波療法を行う。
2. 他動的に軽度足関節を動かす。
3. 患部を冷却し、圧迫と挙上を行う。
4. 患部に低周波通電療法を行う。

問題 121 16歳の女子。サッカー部に所属している。昨日の練習試合で右足関節をひねった。しばらくして歩行が可能となったため帰宅したが、今朝も痛みが引かないため来所した。右腓骨外果前方に腫脹と底背屈痛がみられ、前方動揺性テストは陽性である。足関節0度での疼痛や不安定性はなく、外果に圧痛はみられない。

固定や指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 固定範囲に膝関節を含める。
2. 固定肢位は外反位とする。
3. 免荷歩行を指導する。
4. 次回の来所は2週後と指導する。

問題 122 15歳の女子。ダンス部に入部して運動量が増加した。ダンスの際、足部に疼痛を自覚し、疼痛の改善がみられないため来所した。足部内側に圧痛を伴う骨性隆起がある。

この疾患で正しいのはどれか。

1. 中足骨頭に生じる骨端症である。
2. ガングリオンが原因となる。
3. 脛骨神経の絞扼によって疼痛が生じる。
4. 扁平足を合併していることが多い。

